

今月の表紙「アロエ」

昔から万能の薬草として知られる熱帯植物のアロエは、現在300種以上が確認されています。日本で一般に観賞用に栽培されるものはキダチアロエという品種で、「木立ち」の名の通り茎が伸びて立ち上がります。比較的寒さに強く、冬に赤橙色の花をつけます。



副代表幹事
中堅・中小企業活性化委員会 委員長
岩田 彰一郎
アスクル
取締役社長兼CEO

企業家精神で
温室効果ガス25%削減の先頭に!

今の生活は、地球の許容量の「約2.3倍」のエネルギーを消費して成り立っていることをご存じでしょうか(地球が1年間に吸収するCO₂=約114億トン 世界が1年間に排出するCO₂=約264億トン IPCC第4次評価報告書より)。

「できるだけ早寝早起きをして電気代を節約している」 現在24.3%、今後82.1%と、生活者・社会の認識や行動も変わってきています。

(2009年幸せ予報「トクメキ」消費時代 千趣会 ベルメゾン生活スタイル研究所 2008年12月)

われわれ経営者、経済団体はどうでしょう?

異論反論、課題もたくさんあります。環境対応に努力を払ってきたわが国の限界削減費用(温室効果ガスを追加的に1単位削減するために必要な費用)は、他の先進国に比べても極めて高く、この先の削減には更に高い負担を背負うことになるとも言われています。

しかしながら、社会(=お客様の集合体)が求めているもの、乗り越えなければいけない難問が山積しているもの、誰もが無理と躊躇しているものに挑戦することは、紀伊國屋文左衛門ではなくとも、われわれ企業家にとっては大いなる機会の到来です。ファイトが湧いてきます。組織のテーマができ、緊張感がみなぎります。

こうした状況を乗り越えていくためには、大いなるイノベーションと発想・視点の転換、そして経営者の信念に基づく大胆な意思決定が必要です。

私が委員長を務めさせていただいた「社会的責任経営委員会」では、「三面鏡経営」という考えを取りまとめ、提言しました。経営者として大切なのは、「株主(資本市場)」「従業員」「社会」という三つの鏡に映る姿を等しく意識しなければならないという考えです。資本市場という一つの鏡に映る姿をよくするために、社会や従業員を犠牲にすることはいけないということです。もちろん、真ん中の鏡に映る資本市場は大事ですが、そこだけ見て、行き過ぎてしまうのでは企業家として問題だと思います。持続可能な地球環境、豊かな国民、中産階級なくして、企業の発展はないわけですから、経営者は自覚を持って先頭に立たねばならないと思います。また、そのような経営者を長期的にサポートする、SRI(社会的責任投資)などの資本市場の対応も、極めて重要になってきます。

地球環境問題をはじめ、社会が抱えるさまざまな課題に企業家精神を持って取り組み、それらを解決し、企業を発展させることが求められているととらえ、われわれ経営者は力を合わせて挑みたいと思います。すでに、先頭に立って進んでおられる多くの企業家の皆様に、心より敬意を表します。

Contents

01 巻頭言

岩田彰一郎
「企業家精神で
温室効果ガス25%削減の先頭に!」

02 特集

日本・ASEANの経済発展
に向けた新たなスタートを
座談会
第35回
日本・ASEAN経営者会議報告

12 リレートーク

吉田雅俊「Kの時代」

13 経済同友最前線

マンスフィールド財団(米国)、オーストラリア
国立大学、経済同友会共催フォーラム
「シーズ・ザ・モーメント:
APEC2010(日本開催)・
APEC2011(米国開催)に向けて」

全国経済同友会地方行財政改革推進会議
渡辺 周総務副大臣講演

財政・税制改革委員会 意見書
「財政健全化に一步を踏み出し、
持続的な成長につなげよ」

22 コペンハーゲン通信

「予算とブルカと難民と」

23 同友会スケッチ

2009年10月の記録と12月の予定

25 新入会員紹介

2009年10月16日現在の入退会者

26 私の思い出写真館

細谷英二「国営企業の民営化セミナー」